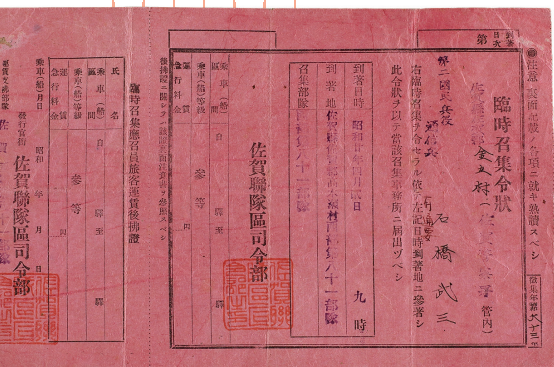




シベリア抑留者が
飢えに耐えかね、袖の部分
パンと交換した防寒外套
(平和祈念展示資料館所蔵)



平和祈念展 in 佐世保

入場無料

令和3年 11月20日(土) ↓ 28日(日) (24日は休館) 10時 ↓ 18時 (入館は17時30分まで)

会場 佐世保市博物館島瀬美術センター 2階・3階展示室

主催・平和祈念展示資料館(総務省委託) 共催・佐世保市博物館島瀬美術センター 後援・佐世保市、佐世保市教育委員会、長崎県、長崎県教育委員会

戦争で多くの**兵士**が
必要になり、
徴兵検査に合格した
男性に出された
臨時召集令状(赤紙)
(平和祈念展示資料館所蔵)

戦争の時代を生きた人たちの労苦を伝える

満州からの引揚者の

女性が娘に着せるため、
亡くなった赤ん坊のおむつで
作ったワンピース ※満州(現・中国東北部)

(平和祈念展示資料館所蔵)



ご当地展示

「写真と資料でたどる
佐世保港・浦頭への引揚げ」



浦頭に上陸する引揚者
(浦頭引揚記念資料館 所蔵)



佐世保引揚援護局職員の腕章
(浦頭引揚記念資料館 所蔵)

平和祈念展示資料館（東京・新宿）では、第二次世界大戦における兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の労苦を多くの人たちに知ってもらうため、全国各地で展示会を開催しています。

「平和祈念展 in 佐世保」では、当資料館の所蔵資料とともに、浦頭引揚記念資料館（佐世保市）が所蔵する写真や資料を展示し、終戦後に佐世保港の浦頭へ引き揚げた人々の姿を伝えます。

兵士

国のために家族を残し、危険な戦地に向かい、命をかけて戦務に従事し、大変な労苦を体験された方々です。



出征する男性のために、女性たちが武運と無事を祈って作った千人針
（平和祈念展示資料館 所蔵）

戦後強制抑留者

戦争が終結したにもかかわらず、シベリアを始めとする旧ソ連やモンゴルの酷寒の地において、乏しい食糧と劣悪な生活環境の中で過酷な強制労働に従事させられた方々です。



収容所で抑留者が白樺の木を削って作った食器
（平和祈念展示資料館 所蔵）

海外からの引揚者

敗戦によって外地での生活のよりどころを失い、身に危険が迫る過酷な状況の中をくぐり抜けて、祖国に戻ってこられた方々です。



佐世保引揚援護局が
発行した引揚証明書
（平和祈念展示資料館 所蔵）

平和祈念展 in 佐世保

入場無料

ご当地展示

「写真と資料でたどる
佐世保港・浦頭への引揚げ」



南風崎駅に向かう引揚者
（浦頭引揚記念資料館 所蔵）

終戦後、佐世保港の浦頭は国内最大級の引揚港として、多くの引揚者を受け入れました。
浦頭に引き揚げた人々と引揚援護に関する写真や資料を紹介します。



引揚者のリュックサック
（浦頭引揚記念資料館 所蔵）

会場のご案内



■JR佐世保駅（東口）から

- ▷ 徒歩約20分
（国道を左に直進。四ヶ町アーケード途中、右手の島瀬公園内）
- ▷ バス約5分（2番バス停乗車、「島瀬町」バス停下車）
- ▷ タクシー約4分

■MR 佐世保中央駅から

- ▷ 徒歩約5分（アーケードを左に直進。途中、右手の島瀬公園内）

※専用の駐車場はございません。ご来場には公共交通機関、近隣の有料駐車場をご利用ください。

ご来場の際には、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策にご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。
混雑時には、入場制限を行う場合があることを予めご了承ください。

開催期間中のお問い合わせ

080-8721-7695（会場事務局 10時～18時）

平和祈念展示資料館（総務省委託）